

 GROUTING
MATERIAL



キザイテクト株式会社

〒451-0055 名古屋市西区堀越二丁目3番20号
Tel.(052)521-6436 Fax.(052)521-6439
東京営業所 / 大阪営業所 / 静岡営業所
岐阜営業所 / 小牧機材センター

■販売総代理店

キザイサービス株式会社

〒451-0055 名古屋市西区堀越二丁目3番20号
Tel.(052)532-0680 Fax.(052)521-6439

■販売代理店

エアモルタル起泡剤

KF-FOAM

KFフォーム

製品説明

KFフォーム

現在の土木分野は、新しい構造物を積極的に構築する時代は終わりを告げ、長年使用されてきた構造物を何らかの方法でリニューアルする時代が到来してきました。

上下水道等に代表されるパイプラインは管渠築造後かなりの年月が経過し、改築の時期になりました。パイプインパイプに代表されるリニューアル工事においては、既設管渠と新管渠の間にエアモルタルを充填することが多く、その性能は年々向上を求められています。

エアモルタルの主材料である起泡剤においても同様にさらなる高性能を要求されています。

KFフォームはエアモルタル圧送充填工事での数多くの施工実績をもとに界面活性剤の特性研究を進め、開発された起泡剤です。

選定5条件

KFフォーム

KFフォームはその気泡の安定性や各種混和材との親和性、施工性に優れています。

特に、微粒子混和材「MPグラウト」を使用して作成される「MPグラウトエアモルタル」を製造する場合に最適な界面活性剤系起泡剤です。KFフォームは起泡剤に求められる5つの条件を満たしています。

- 1 気泡力が強く安定していること。
- 2 泡膜が強く、消泡分離しづらいこと。
- 3 微細で独立した気泡であり、流動性が良いこと。
- 4 ブリーディングしづらく、圧送性が良いこと。
- 5 耐アルカリ性を有すること。



KFフォーム 施工管理例 1



性状

KFフォーム

主成分	アルキルサルフェート系界面活性剤
外観	淡黄色液体
臭気	芳香性微臭
pH	6.0～8.5
密度	0.98～1.02

使用方法及び使用量

KFフォーム

1. KFフォームは通常、原液を20倍～25倍に希釈してご使用下さい。
2. 希釈液の発泡倍率は20倍～25倍程度になるよう調整します。
3. 希釈液に使用する水は清水を使用します。
4. 高分子凝集剤やアルコール類、油脂類が混入した水は気泡力が低下したり消泡作用が働くため、使用できません。
5. 使用材料、使用機械、製造方法等により配合量が変わるため、配合決定は実際に使用する施工条件にて試験し、確認をお願いします。

使用上留意点

KFフォーム

1. 本製品が目に入った場合は清水にて充分洗い流すこと。誤飲の場合、医師の手当を受けること。
2. 本製品は消防法・危険物第4類第3石油類に該当します。

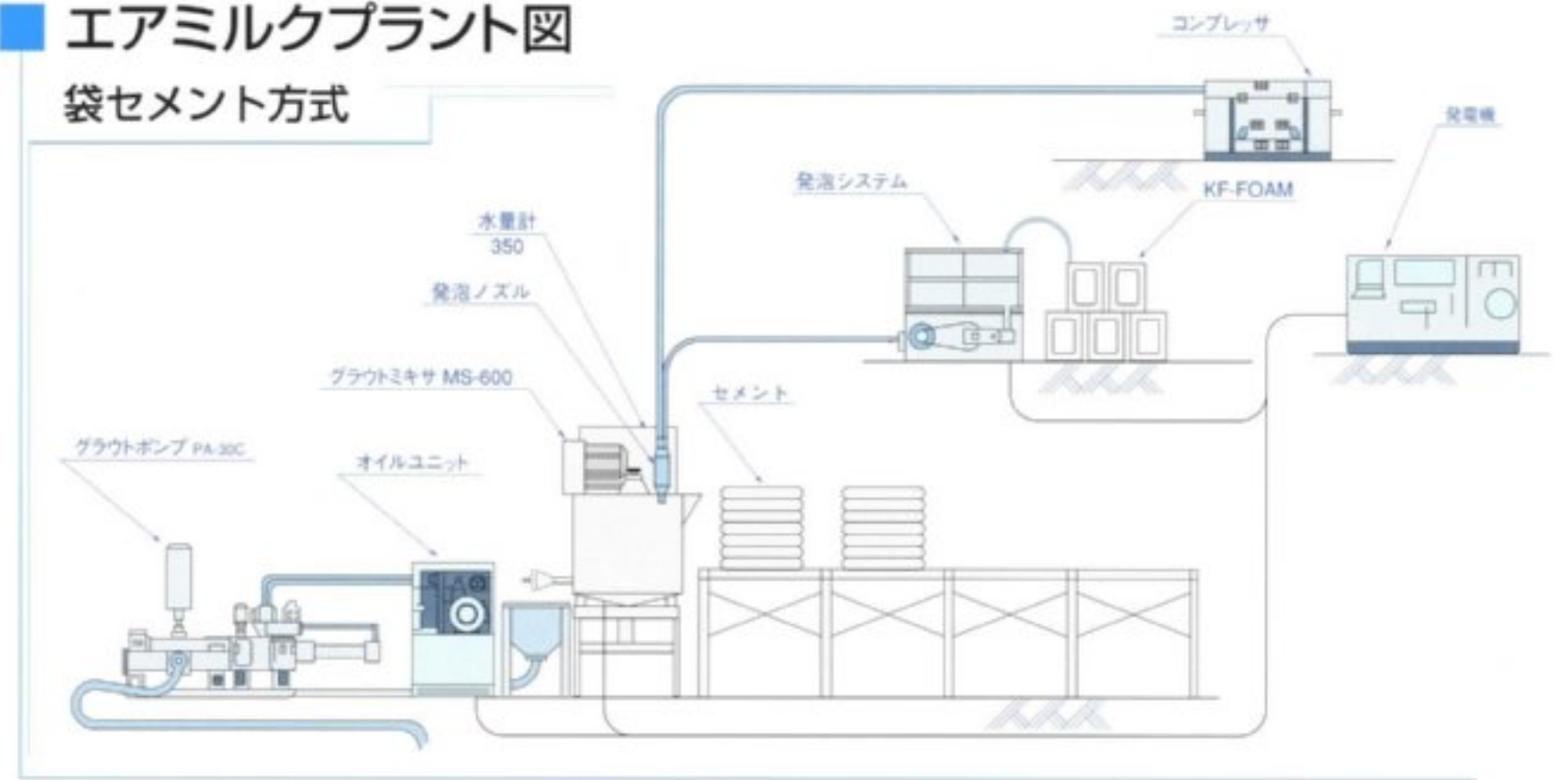


KFフォーム 施工管理例 2

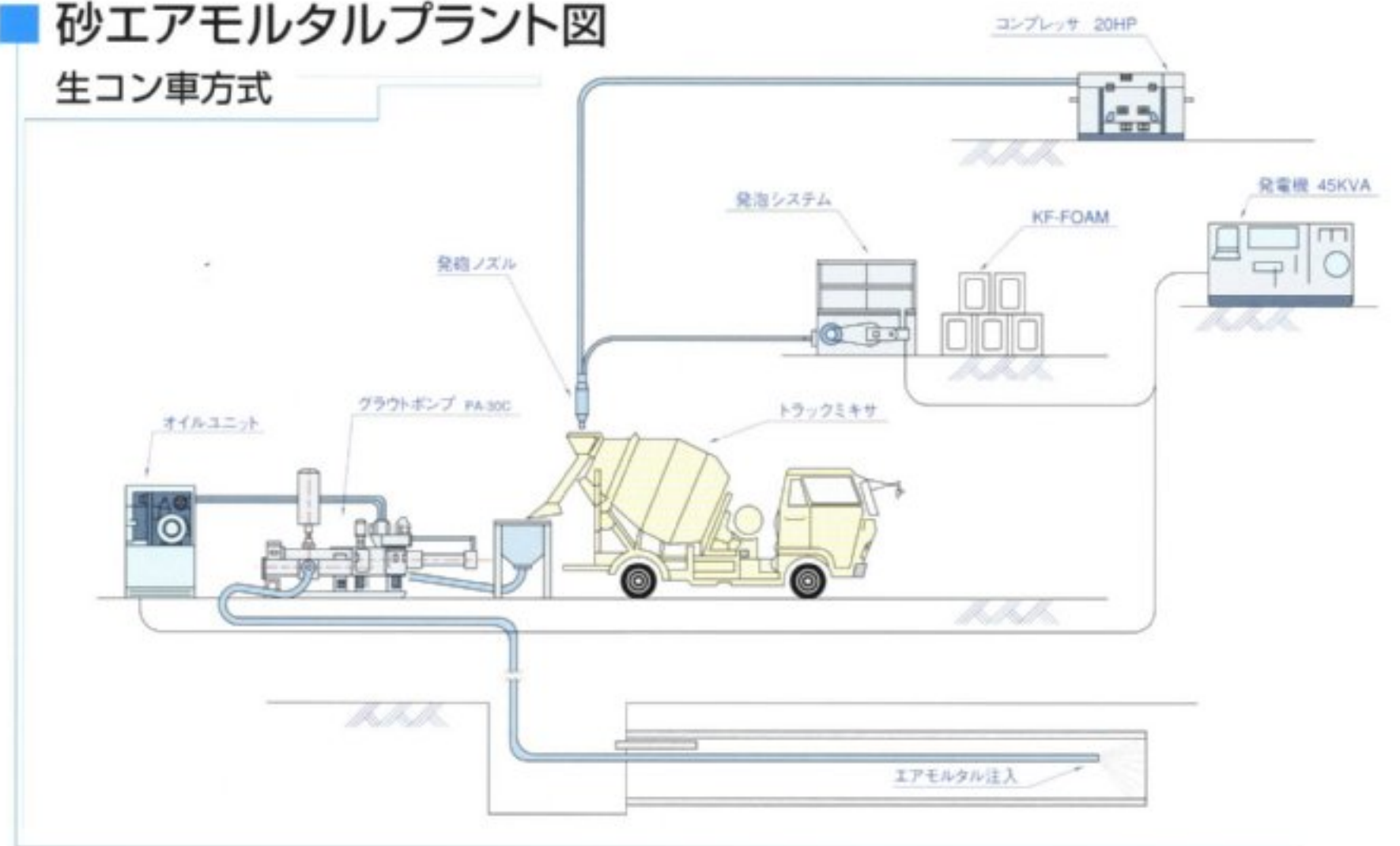
**KFフォーム
発泡システム図**



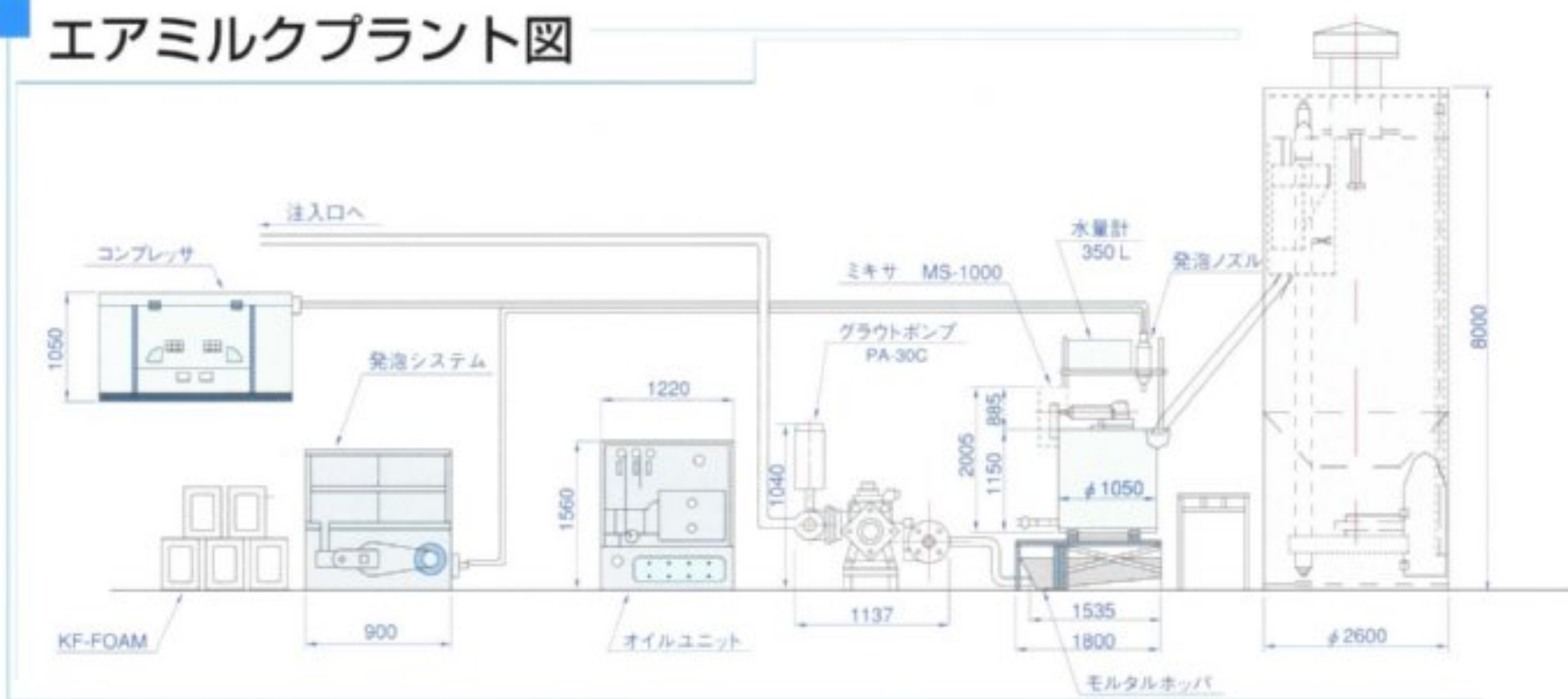
**エアミルクプラント図
袋セメント方式**



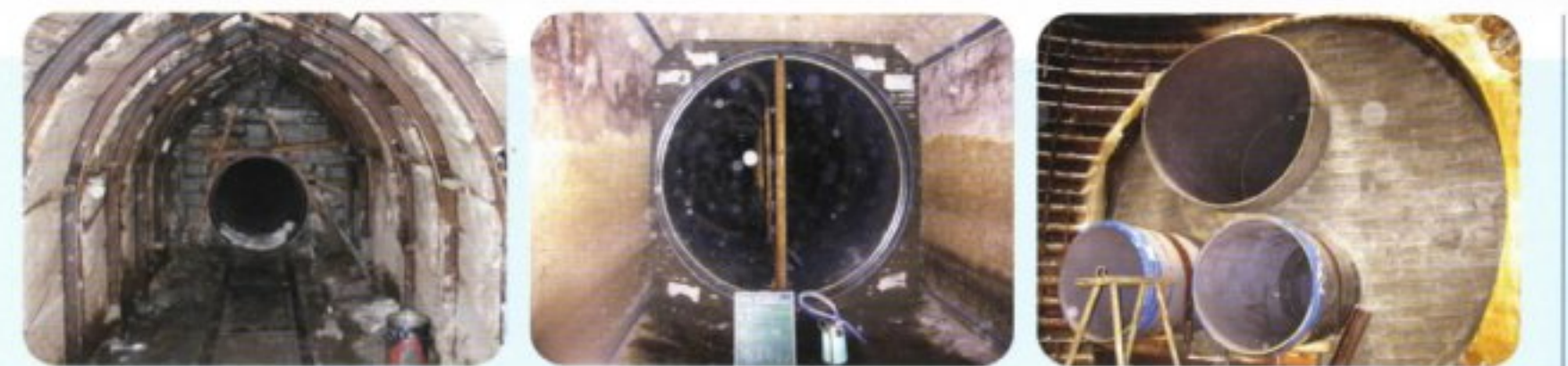
**砂エアモルタルプラント図
生コン車方式**



エアミルクプラント図



■軽量盛土



■パイプイントネル

● MPグラウトエアモルタル

1 m ³ 当りの所要材料				設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	MPグラウト (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/(C+MP) (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
150	250	358	0.88	50	0.76	90	0.5
210	210	372	0.77	48	0.79	88	0.5
240	240	382	0.72	45	0.86	79	1.0
280	280	405	0.64	40	0.96	72	1.5
300	300	441	0.56	35	1.04	73	2.0
320	320	406	0.59	37	1.04	63	2.5
350	350	455	0.48	30	1.15	65	3.0
435	217	513	0.40	25	1.16	78	3.5

● クレイサンドエアモルタル

1 m ³ 当りの所要材料				設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	クレイサンド (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/(C+CS) (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
240	240	389	0.68	43	0.87	81	1.0
275	275	422	0.60	38	0.97	76	1.5
300	300	448	0.53	33	1.05	74	2.0
325	325	473	0.45	28	1.12	72	2.5
350	350	497	0.37	23	1.20	71	3.0

● セメント単味エアミルク

1 m ³ 当りの所要材料			設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/C (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
350	285	0.96	60	0.63	81	1.0
400	318	0.88	55	0.71	79	1.5
450	332	0.83	52	0.78	73	2.0
500	355	0.77	48	0.85	71	2.5

● 砂エアモルタル

セメント：砂=1：1

1 m ³ 当りの所要材料				設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	砂 (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/C (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
300	300	308	0.77	48	0.90	102	1.0
325	325	320	0.72	45	0.97	98	1.5
350	350	323	0.68	43	1.02	92	2.0
375	375	336	0.64	40	1.08	89	2.5
400	400	338	0.60	38	1.13	84	3.0

● 砂エアモルタル

セメント：砂=1：2

1 m ³ 当りの所要材料				設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	砂 (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/C (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
250	500	297	0.68	43	1.04	118	1.0
275	550	300	0.64	40	1.12	109	1.5
300	600	300	0.60	38	1.20	100	2.0
325	650	285	0.57	36	1.26	87	2.5
350	700	288	0.53	33	1.33	82	3.0
375	750	290	0.48	30	1.41	77	3.5

● 砂エアモルタル

セメント：砂=1：3

1 m ³ 当りの所要材料				設計配合基準			
高炉セメントB種 (kg)	砂 (kg)	水 (ℓ)	KFフォーム (kg)	空気量 (%)	生比重 (g/cm ³)	W/C (%)	圧縮強度 (N/mm ²)
225	675	241	0.68	43	1.14	107	1.0
250	750	250	0.60	38	1.25	100	1.5
275	825	263	0.53	33	1.36	95	2.0
300	900	276	0.45	28	1.47	92	3.0
325	975	289	0.37	23	1.58	89	3.5
350	1050	282	0.32	20	1.68	80	4.0



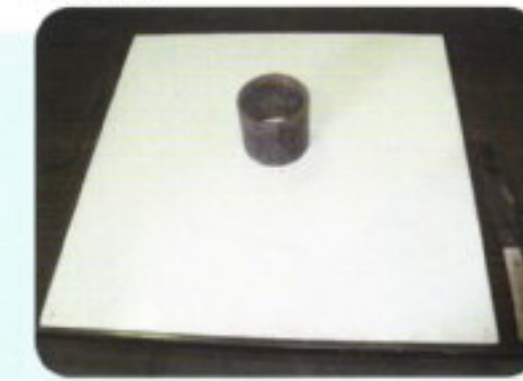
生比重



試験器具



試験器具



フロー値



供試品体

